

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・やり投）の練習については、メイン競技場で招集完了後に使用することができる。練習を行う際は係員の指示によって行う。

### ①メイン競技場

- ア.トラックのみ利用を認める、ただし、競技の準備を優先とする。
- イ.利用時間は、開場から競技開始30分前までとする。
- ウ.器具を使用しての練習は認めない。

### ②補助競技場

- ア.レーンの使用については以下の通りである。
  - ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
  - ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
  - ・ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路6～10レーンのみとする。
  - ・多目的広場側直走路8レーンは女子100mH、10レーンは男子110mHとする。
  - ・第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子400mH、6レーンは男子400mHとする。
- イ.道具（マーカー、ミニハードル、ラダー等）を使用した練習は禁止。

### ③雨天練習場

- ・雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ・雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ・ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。以外は、補助競技場で行うこと。
- ・ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ・ハードルは使用できない。

### ④投てき練習

円盤投・やり投は、競技開始70分前からメイン競技場で練習ができる。

## 2 スパイクシューズ等の制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

### 3 アスリートビブスについて

- ① アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ② トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。

### 4 選手招集について

- ① **選手招集場所は、第2ゲート付近とする。**
- ② 招集時刻は競技時間を確認すること。  
※1：男女円盤投・男女やり投は、現地で招集を行う。  
※2：参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。
- ③ 招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④ 2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

### 5 競技について

- ② 競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ② その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③ トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。  
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④ スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤ 短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑥ レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑦ 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑧ 跳躍・投てき種目の試技は3回とする。
- ⑨ 選手は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。コーチエリア付近（エリア指定あり）で選手に手渡して映像を見せることができる。選手が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、メインスタンドから**撮影機器を手渡しすることは禁止とする**。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから出ること。

### 6 競技用具について

- ① 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。個人所有のやりの検査は競技開始60分前に招集所にて実施する。
- ② 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

### 7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳

## 8 跳躍競技について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、下記の通りである。

		練習		
走高跳	男子	145	150~175まで5cm刻み	175cm以降3cm刻み
	女子	125	130~155まで5cm刻み	155cm以降3cm刻み

三段跳の踏切位置は、男子 11m00 女子9m00 とする。

## 9 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③ 更衣室については、大会受付後方スタンド内通路に入って右側にあるので利用してもよい。
- ④ 記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。